

人間快適工学に基づいた快適な 製品開発と快適性(心地)の評価方法

- ◆日 時 : 2018年5月29日(火) 12:30~16:30
- ◆会 場 : 商工情報センター(カメラアプラザ) 9F 会議室
- ◆受講料 : 1名につき49,980円(税込、資料付)

⇒1名につき32,400円(税込、資料付き)

2名以上同時申し込みの場合、1名につき21,600円(税込)

講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

[講師] 信州大学 繊維学部 特任教授 工学博士 西松 豊典 氏

[講座の趣旨]

最近、感性品質(快適性)がさまざまな製品の魅力に大きな影響を与えています。特に、各製品のコンセプトに合った感性品質である快適性(心地)を実現することが強く望まれています。
今回のセミナーは、触知覚に基づいて評価されている製品の快適性(心地)をどのような検査手法を用いて実験・評価・解析を行ったらよいか、演習を行いながら進めます。また、多くの実験データに基づいて研究開発を行った感性製品の事例(材質感、ステアリングホイールの握り心地)を紹介し、具体的に理解していただくために、いくつかの項目で演習を実施します。

[プログラム]

- 人間快適工学とは
- 人間の触知覚機能について
- 快適性(心地)の数値化手法(官能検査方法)について
 - 官能検査とは
 - 官能検査を行う前の準備(被験者, 試技, 形容語)について
 - 被験者の判定能力を検定するには(演習)
 - 一対比較法による官能検査について(演習)
 - SD法による官能検査について(演習)
- 「快適性」の官能検査結果を分析する因子分析と主成分分析について
- 快適性を評価している被験者の生理的機能量の測定法
 - リラックスと脳波, 心電図との関係について(例:匂いが「心地」に及ぼす影響)
- 製品開発の具体例
 - 素材の「触感(材質感)」を数値化するには
因子分析を用いて「触感(材質感)」のイメージをわかり易く(演習)
 - ステアリングホイールの「握り心地」を数値化するには
主成分分析を用いて「握り心地」のイメージをわかり易く(演習)

【質疑応答・名刺交換】

(講師紹介割引)『快適性(心地)』セミナー申込書

FAX: 03-5857-4812

| | | | |
|-------|---|-----|--|
| 会社・大学 | | | |
| 住 所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |

| お名前 | 所属 | E-Mail |
|-----|----|--------|
| ① | | |
| ② | | |

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>